

# 海外安全対策情報

【2022年1月～3月】

当地に居住する在留邦人の皆様及び旅行や出張等で当地を訪れる短期滞在者の皆様  
が、当地で安全にお過ごしいただくため、ご注意頂きたい事件・事故情報などについ  
て、以下のとおり取りまとめましたので、皆様の安全対策の参考にしてください。

## 1. 治安概況

山東省の治安は比較的良好と言われていますが、あらゆる犯罪が日常的に発生して  
おり、時には凶悪犯罪と呼ばれる類の事件も発生しています。

当地での犯罪の態様としては、暴行傷害事件や窃盗事件をはじめ、痴漢や盗撮等の  
性犯罪や違法薬物犯罪のほか、特に詐欺被害が多発しており、微信や支付宝等の電子  
決済機能を悪用した電信詐欺が後を絶たない状況にあります。さらに、飲酒や交通マ  
ナーに伴う揉め事が多発傾向にあり、特に飲酒に起因した事案では、傷害事件や警察  
官に対する公務執行妨害等に発展したケースも報道されています。

また、当地では飲酒運転に対する取締りが強化されており、自分が飲酒後運転しな  
いことはもちろん、飲酒者が運転する車両にも同乗してはいけませんし、飲酒者に自  
己所有の車両を運転させないように気をつけなければなりません。さらに、売春など  
の性的サービスも禁止されており、買春側も取締りの対象になります。

## 2. 防犯対策

当地では、過去に邦人がスリや置き引き等の盗難被害に遭う事案や、夜間盛り場な  
どでトラブルに巻き込まれる事案が発生しています。よって、次のような点に留意し  
ながら、犯罪に巻き込まれることのないように注意してください。

- (1) 外出時は周囲をよく観察し、異変を察知した場合はすぐにその場を立ち去る。
- (2) 必要以上に華やかな服装や目立つ行為、発言等は避ける。
- (3) 深夜の外出や、夜間暗くて人通りの少ない場所の通行をなるべく避ける。
- (4) 子供を一人で外出させない、外出時に子供から目を離さない。
- (5) 見知らぬ相手からの勧誘、要求には安易に応じない。
- (6) 違法薬物の受取や使用は、どんな理由があっても絶対にしない。
- (7) 不特定多数の人が集まる場所では、手荷物や貴重品の管理に細心の注意を払う。

## 3. 事件・事故報道

### (1) 刃物使用女性拘束事件

3月28日午後、威海経済開発特区のバス停において、バス待ちをしていた女性が  
突然果物ナイフを持った男に捕まり、その場で拘束される事件が発生した。通報を  
受けた警察が臨場して男の説得に当たったが、男は情緒不安定な様子で一向にナイ  
フを手放そうとせず、1時間以上の膠着状態が続いた。特警や救急隊員も対応に当  
たり説得を続けた結果、男はようやくナイフを手放し、警察に連行されたという。  
現在、男の犯行動機が何だったのか等について捜査が続けられている。

### (2) 詐欺等知能犯事件

#### ア マネーロンダリンググループの摘発（青島市）

青島市公安局市南分局は1月11日、上層部から管内にマネーロンダリンググループが潜伏しているとの情報を得て内偵捜査した結果、速やかに被疑者の具体的な位置特定に成功し、現場で被疑者13人全員を検挙した。首謀者の男（30歳）の供述によれば、ネット上で希望者と連絡を取り、電信詐欺で得た金等をキャッシュカードで次々に移し替えるなどの手法により、1月4日から7日間で合計400万元余りを資金洗浄した。年末は税金対策等で口座振替が必要となる人もいるし、正当な行為ではないが大した犯罪ではないと思っていたという。

#### イ 架空アプリを使用した電信詐欺事件（青島市）

市南区警察は近日、青島市在住の女性から60万元余りを騙し取ったとして、電信詐欺グループ5人を検挙した。余罪は100件以上、被害額は6,000万元以上に上る。被害女性は、株取引情報についての微信グループチャット内で、日々の確かな予想を出す“導師”を自称する人物を信用するようになり、同人の指定する株取引アプリをダウンロードして投資を始めた。当初は好調だったため2か月で合計60万元を投資したが、一部資金を現金化しようとする急に口座を凍結され、微信でも連絡が取れなくなったという。被疑者らの供述によれば、一人は企業でソフトウェアの開発運営を手掛けるシステムエンジニアで、詐欺グループの要求に従い5万元で株取引アプリを偽造したということであり、同アプリで投資した資金は最初から別の口座に入金されるシステムであった。

#### ウ コロナを利用した詐欺未遂事件（済南市）

済南市在住の男性は近日、某配送業者を名乗る男から電話があり、男性が受け取る荷物が積載された車両の一部荷物からコロナ陽性反応が出たとして、処分にかかる費用を請求された。男性は、男の言う通りにQRコードをスキャンし、銀行口座番号や暗証番号等を入力していったが、アプリをダウンロードするところで詐欺だと気づき、被害に遭わなかった。郵政部門担当者や配送業者によれば、荷物から陽性反応が出た場合、このようなやり方が行われることはなく、通常はその場で密封されて消毒して防疫部門に送られる。一つの荷物から陽性反応が出ても車両全ての荷物が処分される可能性は低いという。

#### エ ブランド品輸入代行を騙ったネット詐欺事件（青島市）

青島市公安局は2月10日、インターネット詐欺の疑いで市北区在住の男を検挙した。被害者によれば、バレンタインデーのプレゼントとして彼女にブランド品のバッグを購入しようとしたが、デパートでは値引きのない10万元であったことから、ネット上で信頼度や評価の高い海外ブランド輸入代行業者を探していた。犯人は、代金が6万元で5万元は先払いと言ったが、「青島人は青島人を騙さない。」という言葉信じて微信で5万元を支払ってしまったという。検挙された男は、「ネットショップを経営していたが2017年頃から採算が取れなくなり数十万元の負債を抱えてしまった。借金返済のため、金だけ取って商品を渡さない方法を思いつき、各国のあらゆるブランド品を国内価格の7割で輸入代行するなどネット上に広告を出した。昨年以降4件の詐欺を行い100万元くらい得ていた。」と話している。

### オ 「58同城」サイトを使用した詐欺事件（青島市）

「58同城」インターネットサイト上の運転手募集広告に応じた男性が、車両購入のために10万元を借金させられ、1か月も経たずに解雇され車も失う。同アプリに募集を出した城陽区路通詳普通貨物運輸服務部について、同様の被害が相次いでいる。上記男性の他にも十数人が運転手の募集に応じたが、約束した金額の給料は支払われず、数百元だけの者も多かった。班長として2か月以上働いた男性は、会社側に給料の支払いを求めたところ、会社側は資金繰りの悪化を理由に後日全額返金するので一時的に資金を提供して欲しいなどと提案してきたという。弁護士の見解は以下の通り。「ネットサイトは、法に従って発信する情報の真偽を確認する義務があり、間違った情報は直ちに訂正して応募者の誤解を防がなければならない。また、本件では給料が一部支払われている点では詐欺の故意を推定できないが、十数人が同様の問題に直面している点で一つの詐欺手法を形成していることから故意が推定され、詐欺罪を構成する。同時にネットサイトは義務を果たしていないため、連帯責任を負うべきである。」

### (3) 窃盗事件

#### ア 高級白酒連続窃盗事件（淄博市）

淄博市公安局は1月12日早朝、若い男が地下倉庫から数箱の白酒を盗んで逃走したとの通報を受けて直ちに急行したところ、現場付近で男1名を検挙し、車両後部から白酒3箱を発見した。本件では4人の共犯を全て検挙しており、白酒の被害総額は10万元に上る。また、16日には自宅から総額15万元相当の大量の白酒を盗まれたとの通報があり、窓を割って侵入する手口を手掛かりとして18日に窃盗の前科のある男を検挙した。男は、この他に3件の高級白酒に関する侵入窃盗事件を認めている。

#### イ 出店荒しをスピード解決（済南市）

済南市公安局は1月20日、売店からタバコ32カートンとレジ内の現金330元を盗まれたとの通報を受け、直ちに捜査を開始したところ、即座に現場付近の監視カメラから犯人と使用車両を割り出し、犯行から4時間でスピード検挙した。7,000元相当の被害品は全て車両内から発見されている。

#### ウ バッテリー連続窃盗事件（青島市）

平度市公安局は近日、電動バイクのバッテリーを狙って15件もの窃盗を繰り返した男を検挙した。押収された被害品のバッテリーは200個、被害額は2万元余りに上る。平度市内の小区では、1月12日から翌日にかけて、電動バイクのバッテリーが盗まれる被害が相次いで発生した。同局東閣派出所は、パトロールを強化するとともに専従班を立ち上げて捜査したところ、早朝バイクに乗って現れ、盗んだバッテリーを一旦周辺の草むらに隠す男が現場周辺の監視カメラに映っていたことから、同男に対する捜査を徹底し、19日に検挙した。警察は市民に対し、年末年始の盗難被害に注意するよう呼びかけている。

#### エ 大明湖で錦鯉を密漁（済南市）

3月11日午前8時過ぎ、済南市の観光地である大明湖において、2人の男が発射型の銜を使って1匹の錦鯉を釣り上げ、観光客の目の前で持ち去るという事件が発生した。通報を受けた歴下警察は、直ちに捜査を行ってわずか2日後の13日午後に被疑者韓某を検挙した。被疑者は美容院の店員であり、当日は大明湖へ遊

びに来ていたところ、湖にいる大きな鯉を見て気に入ったことから所持携帯していた釣り道具で釣り上げ、今はすでに友人にあげてしまったという。大明湖は、観光地管理条例により釣りが禁止されており、被疑者は現在、行政拘留 13 日の処分を受けている。

### オ 鉄パイプ盗難事件（徳州市）

徳州市公安局運河経済開発区分局は近日、同管内で発生した被害額 7,000 元に及ぶ建設現場内鉄パイプ盗難事件につき、被疑者劉某を検挙した。本事件は夜間に発生しており、監視カメラ映像が不鮮明で捜査は難航を極めたが、現場付近に設置されたカメラに録音機能があったことから、警察は“音声認識法”により捜査を行った結果、2つの車両通行音を発見した。さらに、同音声を被疑者の犯行時刻及び離脱時刻として疑わしい車両を洗い出し、1台の緑色電動三輪車を特定することで被疑者の検挙に至った。

## （4）交通関連

### ア 春節明けに 65 人が飲酒運転（青島市）

青島交通警察は 2 月 7 日夜、春節明けに伴い全市で一斉飲酒検問を実施し、65 件の飲酒運転を検挙した。血中アルコール度数 80mg/100ml を超えた者には、免許停止及び 5 年間の再取得不可、併せて刑事責任が問われる。同警察の劉中隊長は、「青島交通警察は飲酒運転の取締りを継続強化する。乗るなら飲むな、飲むなら乗るなを徹底して欲しい。」と述べた。

### イ 定員外乗車違反（青島市）

城陽交通警察は 2 月 22 日、城陽北高速出口において検問中、乗員オーバーの車両を発見したことから停止させ車内捜索を実施したところ、後部荷台からさらにもう一名を発見した。定員 5 名の車両に 7 名が乗車していたことになる。運転手は、「乗員は全て会社員であり、会社に送るところだった。」と話したが、道路交通安全法第 49 条、同法第 90 条により、罰金 200 元、減点 6 点の処分を受け、超過した乗員は別の車で送られることとなった。

### ウ 定員外乗車違反及び飲酒運転の検挙（青島市）

城陽交通警察は近日、パトロール中に乗員オーバーの車両を発見して検挙したところ、同運転手が飲酒運転であることも発覚し、併せて検挙した。車両は、定員が 8 人のバンタイプであったが、運転手の魏某を含めて 11 人が乗車しており、さらに魏某からは 53mg/100ml のアルコール成分が検出されたという。魏某は、当日朝から宿舎で白酒を飲んだことを認めており、免許停止 6 か月、罰金 1,200 元、減点 18 の処分を受けている。

### エ 偽造ナンバープレートの流出（全国）

ネット販売サイトでは最近、バイク用の偽造ナンバープレートが 100 元に満たない値段で販売されている。1 か月で 800 枚売れたという店もあり、業者によれば不正なルートで輸入された領収書や合格証の無いバイクに使用されるという。中国道路交通安全法第 96 条によれば、偽造ナンバープレートを使用した車両は没収され、使用者は 15 日以下の拘留と 2,000~5,000 元の罰金が併科される。また、販売者は刑法により 3 年以下の懲役や政治権利が剥奪される。

### (5) 薬物関連事件

#### ア 薬物製造密売ルートを壊滅（青島市）

青島警察は近日、内蒙古、寧夏、河南の薬物取締部門と協力し、薬物の製造密売に係る大規模犯罪を解決した。被疑者 50 人余りと犯罪拠点 4 か所を検挙し、製造設備 20 台強、薬物原料 2 トン強を押収することで、多数の省を跨ぐ薬物製造密売ルートを壊滅させた。嶗山公安分局は、2021 年 11 月に検挙した大麻密売事件の被疑者戴某の供述を元に、専門捜査班を編制して捜査した結果、被疑者の友人で薬物関連の前科を持つ李某と、多額の金銭をやりとりする初某を発見した。初某は化学的知識を備えていたことから、李某が 10 万元を出資して薬物を製造させ、戴某の薬物密売ルートを使って覚せい剤を密売していたという。捜査班は、初某が覚せい剤を所持して威海の工場から青島に現れ、李某と接触したところを検挙した。威海拠点を制圧後、被疑者らの供述から河南ほか 2 か所の拠点を解明し、残りの被疑者を検挙した。

#### イ 新型薬物「人工合成大麻成分」に係る事件（済南市）

済南市公安局長清分局は、新型薬物事件を解決し、被疑者 41 人、人工合成大麻成分 120 グラム余りを押収した。同局は昨年 9 月、管内に居住する庄某がラベルの品目が一致しない多数の郵便物を受け取っている事実を確認し、捜査を開始した。その結果、庄某が電子タバコオイル（人工合成大麻成分を含むもの）を販売している疑いが濃厚であると判断し、検挙した現場で 70 グラム余りの人工合成大麻成分を押収した。継続捜査により、警察は庄某に連なる任某を検挙して車内から人工合成大麻成分 30 グラム余りを押収したほか、多数の薬物中毒者を検挙したが、その中で「小甜甜」を名乗っていた、同じく人工合成大麻成分を販売する李某の検挙に至り、李某関連の犯罪グループを全て検挙した。

### (6) その他特異事案

#### ア 偽警察官動画事件（青島市）

城陽区警察は 1 月 13 日、「警察の制服を着た男がネット上で交際相手を募集している。」との通報を受け捜査した結果、ネット名「単身大叔（独身おじさん）」という 47 歳の男を発見し事情聴取した。男の供述によれば、好感と信頼を得るために偽物の警察の制服を入手し、着用してネット動画を掲載したところ、多数の女性ファンを得ることが出来たという。男は動画サイトで 1.6 万人のファンを得たが、偽物の制服等を全て没収され、すでに行政処罰を受けた。

#### イ 無許可ガソリン密売の取締り（済南市）

ガソリン価格が高騰する今、無許可のガソリンスタンドが暗躍している。済南市高新区の工事現場のような場所で、密告者の言う通りに短いクラクションを鳴らすと、駐車中のワゴン車から男が現れて工事現場の扉を開き、中のトラックから給油する。ガソリンの品質や産地を男に訪ねても、自分は手伝っているだけで詳しくは知らないという。この他、微信グループで密売場所を通知する移動式ガソリンスタンドもあり、取締りを避けるために“加油”ではなく“加水”と表現しているようだが、これらの車両はガソリンを満載しているにも関わらず全く安全設備が無いため、交通事故等が発生すれば重大な結果を招いてしまう。近年、済南では多くの無許可ガソリンスタンドが取締りを受けたが、この商売は利益が大きく依然として各地区に多数存在している。

## ウ 公文書・公印等偽造事件（青島市）

山東沂源警察は3月、緻密な内偵捜査を経て某印刷工場を捜索し、経営者らを検挙したほか、現場で国家機関や企業等の各種偽造印52個と、身分証や免許証等の偽造証明書27通を押収した。偽造や変造に関する電子データは2GB、顧客との偽造に関するチャット記録は1400件余りに上り、ブローカー60余人が湖南、広東等に存在するという。ネット上には、人の出生や就業、結婚や死亡に関する各種証明書を提供する偽造業者が多数存在し、“学歴証明書”と検索すると、「卒業証明書専門、2時間で出荷、後払い」など、多くの偽造に関する広告が表示される。記者が同サイトに電話を掛けて年代と大学名を数個指定したところ、担当者は、「320円でどんな大学の卒業証明書も作成可能、48時間以内に配送する。」と答え、実際に送付されてきた卒業証明書には全てに大学の校印や校長の署名が再現されていた。担当者はさらに、「このサイトは単なるブローカーで仲介マージンを稼いでいる。国内は厳しいので現在は外国から発送している。証明書の種類によって金額が違い、例えば大学英語4級・6級の成績表であれば260元。」などと話した。また、偽造業者が直接顧客とやりとりする場合もある。“学歴3時間で発送”の広告に連絡を取ったところ、担当者は「大学本科学歴証明書300元、英語4級580元、6級800元、成績表でも証明書でも可。身分証、免許証、結婚証明、離婚証明等何でも作成可能。身分証は200元と300元のものがあり、就職のために年齢を少し若くすることもできる。」などと話した。刑法第280条は、「国家機関の公文書、証明書、印章を偽造、変造、売買、窃取、強取、破壊した者は3年以下の有期徒刑、拘役、監視又は政治権利を剥奪し、罰金を併科する。悪質な者は3年以上10年以下の有期徒刑及び罰金を併科する。」と規定している。

## 4. 治安対策等報道

### (1) 顔認証決済の安全性（全国）

インターネット時代を迎え顔認証決済は益々普及しており、ユーザー数は2018年に0.6億人、2020年には2.4億人まで伸び、2022年には7.6億人に達すると予想されるが、安全性を考察する。2020年12月、男が就寝中の女性の指紋を使って同女のスマホを開くと、さらに同女の目蓋を手で開けてアリペイの顔認証機能を突破し、銀行口座等から15.4万円を盗む事件が発生した。2021年10月の上海銀行保険監督局の発表では、某家政婦が65歳の女性に対し写真を撮ると騙して顔認証を突破し、同女にスマホを使用させて確認コードを入力、保険金を盗む事件も発生している。記者が実験したところ、片目を閉じた状態や他人に目蓋を開けられた状態でも、微信の決済やアリペイの決済認証が可能であったが、tiktokの顔正面の画像では認証されなかった。顔認証は確かに便利であるが、やはり暗証番号の方がより安全といえる。

### (2) 電信詐欺に利用されるGOIP（全国）

GOIPとは、旧来の携帯電話信号をインターネット信号に変換することができる装置である。1台のGOIPに100以上のSIMカード挿入口があるため、100台以上の携帯電話としてPCからの集中ダイヤルが可能であり、近年はよく電信詐欺グループに利用されている。公安部によれば、2021年に検挙された電信詐欺事件は全国で44.1万件、被疑者は69万人に及ぶ。GOIPは、電信詐欺の道具としてすでに正しい活躍の場を失っているが、今でも簡単にネットショッピングで購入可能だ。全国公安機関は、“浄網2021作戦”において「闇のSIMカード・電話番号・ルート・デバイス

## 海外安全対策情報

ス」等のネット犯罪供用物に着目し、それらを売りさばく被疑者3万人を検挙、300万枚のSIMカードを差し押さえて1,000万の電話番号を凍結し、“猫池”やGOIP等1万台を没収した。

### (3) 山東省公安に対する満足度が過去最高（山東省）

2021年、山東省公安機関に対する満足度は、97.68ポイント（前年比0.48ポイント増）まで上昇し過去最高となった。山東省公安局は、反社会勢力の撲滅により中国公安部から一等功勞を受賞している。11.08万件の刑事事件を解決し、殺人事件の解決率は99.6%である。また、3.4万件の電信詐欺事件を解決し416.5億元の被害を防止した。“国家反詐欺アプリ”のダウンロード率は全国トップであり、1万人あたりの詐欺事件発生数は全国最低、“浄網2021作戦”による事件解決数も全国トップである。さらに、“キツネ狩り作戦”により海外逃亡した経済犯22人を帰国させて検挙し、“団らん作戦”により失踪者446人を発見している。

### (4) 山東省高級人民法院による2021年業務報告（山東省）

第13回省人代第7会議（1月25日開催）における業務報告は以下のとおり。なお、2021年の総受理件数は193万件（前年217.6万件）、総処理数は185.9万件（前年比-11.3%）。

#### ○ 積極的防疫活動

マスク販売に関する詐欺や、防疫秩序を妨害する行為等により59人の刑事責任を追及。

#### ○ 反社会勢力の撲滅

マフィア関連事件19件80人、犯罪グループ関連事件109件623人を結審し、194人を5年以上の有期懲役処分。また、マフィアとの癒着事件5件5人を処理。

#### ○ 民衆の経済生活や安全を保護

労働の安全に関する犯罪135件、食品及び薬品の安全に関する犯罪429件、高所投てき、マンホール盗難等24件、酒酔い危険運転3.1万件、ひき逃げ7,439件、違法貸金等経済犯罪4,001件、電信ネット詐欺3,320件の事件を処理。

#### ○ 共同富裕促進関連

食事宅配業者の権利保護関連2,123件、氏名や顔認証等のプライバシー関連1.7万件、賃貸住居に関する揉め事7.6万件を処理。

#### ○ 創造発展の保障

知的財産権関連2.2万件を処理。偽造著作権等の商標権関連は7,633件、ネット上で新規顧客のみを優遇するなどの案件は7,471件。

#### ○ 反腐敗活動

収賄672件796人、贈賄33件42人の事件を処理し、賄賂として使われた6億元を没収。

### (5) 山東省人民検察院による2021年業務報告（山東省）

第13回省人代第7会議（1月25日開催）における業務報告は以下のとおり。なお、2021年の総起訴数は103,402人、被逮捕者は29,004人。

#### ○ 黄河流域の生態保護関連

黄河流域の安全に関する犯罪や、環境資源破壊の犯罪者1,210人を起訴。

#### ○ 反社会勢力の撲滅

マフィア（犯罪グループ含む）関連事件525件を取扱い、マフィア及びその後

## 海外安全対策情報

ろ盾の政府関係者 1,075 人を起訴、224 人を逮捕。

### ○ 商環境の最適化

違法集金、マネーロンダリング等により金融秩序を破壊し、社会に重大な損失を与えた犯罪者 2,529 人を厳正に処分し、12.1 億元を没収。

### ○ 地域社会管理

女性・子供・老人・障害者に対する犯罪者 8,061 人、医療関係 29 人、軍関係 25 人を起訴。

### ○ 未成年者の被害ゼロ方針を堅持

未成年者に対する性被害等の犯罪者 1807 人を起訴。全省 8,804 の小中学校や幼稚園等の教育機関に籍を置く 96 万人の犯罪記録を調べ、前科等問題のある 754 人を抽出。

## (6) 新「道路交通法違反行為に係る減点管理法」(全国)

中国公安部は、4月1日から交通違反の減点に関する大規模な調整を実施する。主に、①車線変更違反を3点から1点へ、②運転中の電話を2点から3点へ、③車検合格証未貼付を3点から減点無しへとそれぞれ変更する。道路上には実線と点線があり、交差点の実線を越えてはいけないが、場所によっては線が見えにくいなどで訴訟となる状況が散見された。今次変更で人情味のある交通管理を示す。スマホの機能増大に伴い、多くの方は運転時もスマホを手放せなくなっている。今次減点増は、交通管理部門がこの状況を懸念している表れである。車検合格証は、2020年6月から全面電子化が進み、電子車検証は紙媒体の車検証と同様の効能を持つことから、紙媒体を貼付する必要がなくなった。この他に、スピード違反も緩和される。自家用車が20%に至らない速度超過をしても減点としない。高速道路や都市快速道路での20%~50%の速度超過は減点6(一般道は減点3)となり、50%以上は減点12(一般道は減点6)となる。

## (7) 即墨区の改革により駐車違反の苦情が73%減少(青島市)

青島市公安局即墨分局は、2021年11月から10分以内の駐車違反について取締を免除するとともに、駐車違反情報をIT化して合理的な改善を検討している。6,000名の駐車違反者に駐車場情報を発信することで苦情を73%減少させ、市民の満足度を高めた。監視カメラの撮影間隔を10分間隔に調整し、初めて違反車両を撮影するとシステムが車両所有者に情報を送信して移動を促す。次の撮影までに移動させた場合は取締りが免除され、移動しない場合のみ法律に従って処罰が行われる。また、区内の26か所の駐車場や1.6万か所の駐車スペース情報をリアルタイムで共有し、監視カメラシステムが違反車両を撮影すると同時に周囲500m以内の駐車スペース情報を違反者に提供する。即墨分局は、区内363か所の駐車禁止道路周辺に設置された監視カメラを改良して、死角のない24時間体制の監視体制を設立した。

## (8) 贈賄者の「ブラックリスト化」提案(全国)

第19期中央規律検査委員会第6回全体会議において、「全国の規律検査機関が2021年中に5,006人の贈賄者を留置し、4,806人を処分、2,822人を検察機関に移送した。」とする贈賄者に関するデータが初めて発表された。また、2022年の任務を贈収賄取締りの更なる推進とし、贈賄者の「ブラックリスト」制度の実施を模索することが提案された。これは、贈賄者と収賄者併せて捜査する上での重要な手段となる。検査機関は、贈賄容疑のある組織や人物をブラックリストに登載し、党委員会の関連部門や法執行機関に通報する。それら関連部門は、法に従って組織内処



## 海外安全対策情報

理や行政処罰、資格制限等の処分を行うことができ、併せて一定の範囲で公開することで贈賄者に対する戒めをも実現することができる。

### (9) 「山東省電動自転車管理弁法」が5月1日施行（山東省）

各種デリバリ業の発展に伴い、街頭では電動自転車が急速に増加したが、運転中のスマホ使用や充電電池の発火等の問題が住民の生命安全に影響を与えている。「山東省電動自転車管理弁法」は、本年2月15日に省政府第145回常務会議を通過し、5月1日に施行となる。

#### 【電動自転車運行規定】

- ア 夜間・霧・雨・雪・砂塵・雹等の視界不良時には前後灯を点灯する。
- イ 電子機器を閲覧したり、所持した状態で電話するなど安全な運転を妨げる行為をしない。
- ウ 運転者はヘルメットを着用。
- エ 指定の位置に有効なナンバープレートを取付け。
- オ 違法設備を取り付けたり、改造・変造・車両コードを偽造した電動自転車を運転しない。

#### 【処罰規定】

- ア 上記②③に違反した者は交通管理部門の口頭警告を受けて登録され、再度違反して改善を拒否、又は危害を発生させた場合は20元の罰金。
- イ 改造・変造・車両コードを偽造した電動自転車を運転した場合は、20～50元の罰金。
- ウ 違法設備を取り付けた電動自転車を運転した者は、交通管理部門の口頭警告を受け、改善を拒否した場合は20元の罰金。他に、各デリバリ業者による保険加入義務、駐車禁止場所や充電場所等が明確に規定され、駅や公園等の公共施設や新築住居は、駐車・充電設備を設置する必要がある。

### (10) 交通機関でのスピーカー使用禁止（青島市）

青島市交通運輸局は近日、「青島市軌道交通乗客遵守規則」内に、駅や電車内で電子機器を使用する際の音出し禁止規定を新たに追加し、関連文書の完成を待って駅内に掲示する計画だ。すでに上海や武漢、蘇州等各地でも同様の施策が始まっており、国家レベルでは、2020年4月1日から「都市軌道交通運行組織及び服務管理弁法」が電子機器の音出しを含む10種の迷惑行為を禁止している。青島市民による「政府ポスト」への書き込み提案から始まった施策だが、効果には疑問の声もある。毎日2時間電車に乗る女性は、騒音が大きい中での通話では声も大きくなるが良いのかなど、細かく決める必要があると語る。また、上海では施策が始まってすぐに大音量で映像を見ている男を注意した乗客が、注意した相手に殴られる事件も発生しており、問題は少なくない。「治安管理条例」第23条によれば、駅・港・空港・デパート・公園・博物館等公共場所の秩序を乱した者は、警告又は200元以下の罰金、悪質な行為には5日以上10日以下の拘留及び500元以下の罰金を併科するの処分となる。他にも、貴陽市の規定では、注意を聞かない乗客を駅の派出所に連行することができ、武漢市ではその場で50元以上200元以下の罰金処分が可能、昆明では駅や電車への立入り禁止処分が可能だ。

### (11) 山東省内裁判所の案件受理数が全国最大の減少幅（山東省）

山東省政府新聞弁公室は3月30日、第10回新聞発表会を開き、山東省が全国で最も安全で安定した省の一つだとする内容の発表を行った。昨年は裁判所の案件受

理数が前年比 11.3%減少しており、全国最大の減少幅だという。2021 年の実績は、マフィア関連事件 10 件、犯罪グループ関連事件 57 件、刑事事件 11.08 万件、さらに電信詐欺関連事件 3.4 万件を解決して 416.5 億元の被害を防止したほか、人口 1 万人当たりの電信詐欺事件発生数も全国最低である。また、法治環境と協調メカニズムの構築を推進し、“経営環境の最適化のための 12 項目”を打ち出した。経済領域における違法行為を厳しく取り締まり、経済関連事件 7,243 件を立件して 100 億元以上の経済損失を防止したことで、昨年の民間企業による経営環境評価では、山東省が法治環境第一位となった。